

宮崎県：25年度当初予算案に「外国人材の定着促進」 事業を計上（宮日報道）

25.02.14

宮崎日日新聞は、県の2025年度当初予算案に「外国人材の定着促進」へ向けた新事業が盛り込まれたと報じた。技能実習の後継制度「育成就労」導入で転籍が可能になることを踏まえ、都市部への流出懸念に対応する狙いを示す。働きやすい職場環境整備や日本語・生活支援など、受入れと定着を両輪とする施策が検討対象。県は「外国人に選ばれる県」を掲げ、企業・地域・学校の連携強化を打ち出す。背景には人手不足の深刻化と産業構造の変化がある。定着につながる住環境の整備や相談体制強化も重要視された。関連資料として県公表の当初予算案概要では、定着促進事業に4,100万円を計上と整理されている。介護・製造・観光など多分野での活躍基盤の整備が見込まれる。制度改正の移行期に、県が主導して受入れ基盤を底上げする方針を示した。今後は各個別事業の具体化・周知が鍵となる。



— 宮崎日日新聞

外国人に選ばれる県へ 働きやすさ、環...

https://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/_82990.html

宮崎県：特定技能外国人材マッチング支援 事業者向け説明会を実施

25.05.02

県は、介護分野を中心とした特定技能外国人材のマッチング支援で、事業者向け説明会を実施。事業の狙い、申込方法、留学生・特定技能人材の活用事例などを案内する。受入れ準備から雇用契約、入国支援まで一連のプロセス支援に触れた。昨年度からの継続事業で、県内施設の採用事例も紹介予定とされる。オンライン開催にも対応し、参加しやすい運営形態。県の介護人材ポータル内でも関連施策が一覧化され、情報にアクセスしやすい。制度理解と採用の具体化を促す位置付けのイベントである。地域の事業者間での情報共有の場としての役割も担う。定着・活躍を見据えたマッチングの実践を後押しする。継続受託実績のある事業者の運営で実装性が高い。

宮崎県主催
令和7年度 特定技能外国人材
マッチング支援
介護サービス事業者向け事業説明会

事前予約制
参加無料

開催方法
会場と
オンライン

多くの事業者で人材不足が深刻化している
超高齢社会の到来、介護業界においても、
事業の持続に支障をきたす外国人材を積極的に
採用することが必要です。県では、県内の
介護施設等と連携して定着を促進する特定
技能外国人材とのマッチング支援を実施して
おり、本説明会において「特定技能」制度の
説明や定入めスケジュール、企業別待遇
などについて説明いたします。

第1期	2025	6/26	10:00 - 11:30
会場 オンライン 開催			
第2期	2025	7/24	13:00 - 14:30
会場 オンライン 開催			

お申込みについて

詳細は下記URLから
オンライン申込みまたは
お電話でご申込み
ください。

お申し込みURL
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choju/kurashi/k
oresha/20250502102914.html

6/19(土) 7/17(土)

宮崎県

宮崎県：特定技能外国人材マッチン...

[https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choju/kurashi/k
oresha/20250502102914.html](https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choju/kurashi/k
oresha/20250502102914.html)

宮崎県：ひなたMBA（外国人労働者向け）運營業務の実施告知

25.05.22

県は、外国人労働者向けの研修プログラム「ひなたMBA」の運營業務について、企画提案競技の実施を告知。目的は、ビジネス日本語やマナーなど職場適応に必要なスキル習得を支援し、職場の即戦力化と定着を促すこと。委託期間は契約締結日から令和8年3月13日まで、契約上限額は6,259,000円と明記。県HPの新着情報にも同旨の掲出があり、公募→審査→結果公表の流れが示された。7月3日付で受託者結果が公表され、株式会社教育情報サービスが選定された。受講対象・カリキュラムの詳細は仕様書で定められている。外国人材の早期戦力化と離職抑制を狙う実践的な施策である。産学官の連携による講座運営を前提とし、県内企業の受入力向上を図る。ひなたMBAの枠組みと連動し、継続的な人材育成を進める。結果公表ページも公開され、透明性の高い運営が確認できる。



宮崎県

宮崎県：ひなたMBA（みやざきビジネスアカ...

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/kense/shotatsu/20250507102320.html>

WORLD FAVOUR OVERSEAS:ネパール人技能実習生 12 名が宮崎の医療施設へ入社

25.01.31

ネパールの送出機関WORLD FAVOUR OVERSEASは、宮崎県内の総合医療施設で介護職として就労する技能実習生12名の入社式に同行したと報告。現場配属前の準備や移動の様子、実習生の表情を写真付きで紹介している。地域の医療・介護現場で人材確保が進む一例として位置づけられる。今後の生活・仕事の両面での支援が重要であることに触れる。受入れ企業と実習生のマッチングが順調に進んだことを示す内容。現地からのレポート形式で、入社式の雰囲気や伝わる。地域ぐるみの定着支援の必要性も示唆される。技能実習制度下での育成と、将来的な移行可能性への期待が伺える。宮崎の生活環境の魅力にも言及している。継続的なフォローアップの重要性を示す記録である。



ネパール人技能実習生送出機関・ワール...
ネパール人技能実習生12名の介護施...

<https://wfo-jp.com/post-4129/>

ウイルテック:宮崎市と「海外人材雇用促進に関する連携協定」を締結(PR TIMES)

25.02.19

製造請負・人材サービスのウイルテックは、宮崎市と海外人材の雇用促進に関する連携協定の締結式開催を発表。締結式は2月26日予定で、市庁舎内の特別会議室で行われる。市の魅力発信と就労・生活面の支援を通じ、定着を後押しする枠組み。海外現地での情報発信や、企業と候補者のマッチング強化を掲げる。地域産業の人手不足解消と活性化を目的とした取り組み。市との協定により、受入れ環境の整備が加速すると見込む。企業の採用力向上と生活支援の両輪で成果を狙う。PR TIMESの一次情報として、日程・会場・狙いが明確に示された。地域の教育機関・支援機関との連携も想定される。協定の具体施策は今後の発表で詳細化される見込み。



 PR TIMES

宮崎市と「海外人材雇用促進に関する連携協...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000030.000067902.html>

MRT/TBS NEWS DIG: 県内の外国人労働者は 8,515人 で過去最多(宮崎労働局)

25.02.15

MRTは、宮崎労働局の集計として、2024年10月末時点の県内外国人労働者が8,515人で過去最多と報道。前年から1,494人増、受入れ事業所は1,506か所でいずれも過去最多と伝えた。在留資格別では技能実習生が4,816人で全体の約6割。国籍はベトナム、インドネシア、ミャンマーの順に多いと整理。人手不足の進行が受入れ拡大の背景にある。適正受入れと定着支援の重要性が増していることを示すデータ。官民の支援施策の実効性が問われる局面である。教育・住居・医療等の多面的支援の必要性が浮き彫りになった。統計は今後の施策立案の基礎資料となる。地域の雇用・生活環境整備の加速が期待される。



TBS NEWS DIG

宮崎県内の外国人労働者数は8515人 過去最多を..

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/mrt/1732693?display=1>

MRT/TBS NEWS: 日南市・油津港に外国クルーズ船が寄港(ダイヤモンド・プリンセス)

25.03.18

3月18日、横浜発着の外国クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が油津港に寄港。乗客・乗員あわせて約4,000人が来訪し、日南市の職員やキャラクターが岸壁で出迎えた。飫肥では歴史的施設見学や人力車体験など観光を満喫。市内各地がにぎわい、飲食・観光関連への波及効果が見込まれる。今年3回目の寄港で、地域の受け入れ態勢の成熟がうかがえる。多言語対応や交通手配など、官民の連携が機能した事例。外国人観光客の増加が地域経済に寄与する動向を示す。港湾・観光戦略における継続的な誘致の成果が表れた。今後の寄港増に向けた受入環境の整備が期待される。映像付きで現場の様子を伝えている。



TBS NEWS DIG

海外からの大型クルーズ船 約3年ぶりに...

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/mrt/1796998?display=1>

「とんでもない戦力」の技能実習生 制度廃止で転職自由化へ

2025.10.08

外国人労働者が地方でも増加している。宮崎県では8515人と過去最多を更新した。人手不足が深刻化する中、2年後には「技能実習制度」が廃止され、外国人労働者にとって転職が容易な新制度へ移行する。それにともない地方からの人材流出も懸念される。新制度の狙いと課題に迫る現行の技能実習制度では、外国人労働者は最長で5年間日本に滞在し、農業や製造業などの分野で働くことができた。この制度の目的は、日本の技術を外国人に伝える「国際貢献」であり、実習終了後は原則として母国に帰国する必要があった。一方、新たに導入される「育成就労制度」では、原則3年間働けば、長期就労が可能な「特定技能」の資格を取得でき、そのまま日本で働き続けることが可能になる。制度の目的が"国際貢献"から"人手の確保"へと明確に転換された形だ。



日本語教育の推進を ベトナム友好協が宮崎県に要望

2025.09.26

技能実習に代わる外国人材の新たな受け入れ制度「育成就労」への移行に向け、県日本・ベトナム友好協会（理事長・根岸裕孝宮崎大教授）は25日、県内で働くベトナム人ら外国人労働者の日本語教育の強力な推進などを求める要望書を県に提出した。



宮崎県国際交流協会

宮崎県地域日本語教育体制整備事業

震の経験がまったくない外国人にどうやって身を守る方法を伝えるか？宮崎で「地震勉強会」

2025.10.25

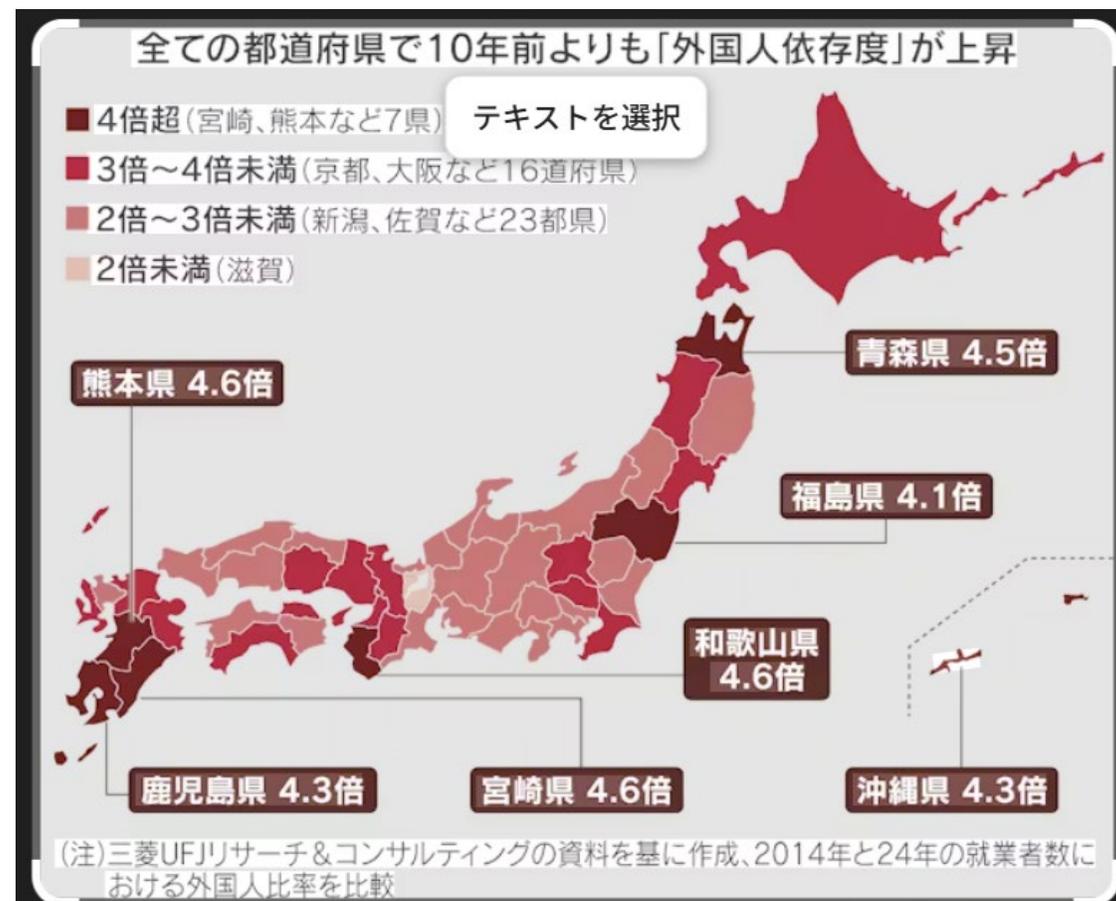
突然の地震は、地震大国・日本に暮らす私たちにとっても、驚きであり恐怖である。ましてや、地震がほとんどない国から日本に来た外国人は、なおさらだ。宮崎県内に住む外国人は1万1000人を超える。宮崎県都城市では、外国人を対象にした地震勉強会が開催され、防災対策の重要性が改めて浮き彫りになった。勉強会を主催したのは、霧島山麓活性化人材育成協会。同協会は6年前から月3、4回のペースで日本語教室を開いており、市内で働く外国人技能実習生らが参加している。今回のテーマは「地震」。ベトナムやインドネシア出身の6人が、緊急地震速報や災害時に頻繁に用いられる日本語表現について学んだ。



外国人の働き手、宮崎など7県で10年前の4倍 地方で進む労働依存

2025.08.14

人手不足が深刻な地方を中心に、外国人への労働依存が加速している。全ての都道府県で10年前より外国人労働者の割合が高まり、宮崎県など7県は4倍超になった。建設業や医療・介護などの伸びが目立つ。地域経済を支える担い手との共生を進める環境整備が急務になる。厚生労働省の外国人雇用状況の届出状況と総務省の労働力調査をもとに、都道府県別と産業別の外国人労働者の割合を外国人依存度として算出した。



公営住宅に外国人労働者 宮崎県内受け入れ広がる

2025.12.03

県内の公営住宅で外国人労働者を受け入れる動きが広がっている。空き室活用に向けた取り組みの一環で、国の承認を得た上で地域の実情に応じて入居要件を緩和する「目的外使用」の制度を活用。11月25日時点で、県内3市の市営住宅に計50人が入居している。空き室活用を図る自治体側と、住居確保に苦慮する外国人労働者側のニーズが合致した形で、県は市町村などと連携し、適正に対応していく考えだ。



公営住宅の目的外使用により、外国人労働者が入居していた県営団地＝都城市都北町

宮崎県日南市と特定技能外国人材の 雇用促進に関する連携協定を締結

2025.07.30

特定技能人材の紹介実績が全国47都道府県で6,800名を超える株式会社ONODERA USER RUN（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：加藤順、以下「OUR」）は、深刻化する地方の人手不足といった社会課題の解決に向け、特定技能外国人材の雇用促進に関する連携協定を宮崎県日南市（市長：高橋 透、以下「日南市」）と締結いたしました。



産直提携産地・宮崎県イシハラフーズで利用者が 冷凍ホウレンソウの生産現場を確認

2025.12.25

公開確認会はパルシステムの産直産地で、農産物の栽培方法や安全性を担保する記録を利用者自らが直接確認する独自の監査制度です。生産者と消費者が顔を合わせ、帳票類の確認やほ場と製造施設の視察を通じて相互理解を深め、課題を共有することを目的としています。今回は、年間2000トン以上の冷凍野菜を供給し、独自の管理システムを構築するイシハラフーズ株式会社を対象に実施しました。監査では、生産管理体制に加え、同社の社会貢献活動や労働環境が評価されました。社会貢献活動としては、毎月フードバンクへ冷凍野菜や規格外野菜を提供し、ひとり親家庭や低所得世帯を支援しています。労働環境では、外国人技能実習生を含む従業員とのコミュニケーションが良好で、風通しの良い職場環境を築いていることを確認しました



人口30人の限界集落に若者が集結！500年続く神楽を支える「かつての山村留学生」たちの絆

2025.12.20

人口わずか約30人のこの集落では、500年以上続く中之又神楽が大切に守られています。かつてこの地で山村留学を経験した若者たちが、大人になっても県内外から駆けつけ、担い手として神楽を支えています。絆の深さ: 留学生たちは子供の頃にこの地で過ごした縁を大切にしており、中には30年前に赴任した元教師が家族で通い続ける例もあります。新たな広がり: 最近では、新たに舞手として加わった中国出身の女性など、多様な人々がこの伝統の輪に加わっています。過酷な奉納: たった十数人のメンバーで、舞、笛、太鼓を交代しながら夜を徹して奉納を行うという、非常に熱量の高い祭事です



ムスリムのくらし、のぞいてみたら ～宮崎でともに暮らすムスリムの人々～

2025.08.22

最近、宮崎でもムスリム（イスラム教徒）の人たちを見かけることが増えてきました。「イスラム教」と聞くと、厳しいルールの中で、みんなが同じように暮らしているイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。しかし実際には、「ムスリム」と一口に言っても、育った国や家庭、またその人の信仰のあり方によって習慣や考え方は様々で、「くらし」のかたちも実に多様です。宮崎に住む4か国出身のムスリムの人々の「ふだんのくらし」や「文化」をのぞいて、ともに暮らすヒントを見つけてみましょう。

